



“若者と広島県知事の意見交換会” 第 2 回「#ひろしま未来トーク」開催！

日時：令和 8 年 10 月 3 日（土） 13 時 15 分から 15 時 45 分

会場：三次もののけミュージアム

広島県は、令和 2 年に「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」（以下「ひろしまビジョン」という）を策定し、県民の皆さまと共に新たな広島県づくりの推進に取り組んできました。このたび令和 8 年 6 月に改定した、この「ひろしまビジョン」に掲げる目指す姿を実現するためには、県民の皆様と行政と一緒に取り組むことが必要であり、お一人お一人の具体的な行動に結びつけていくことが重要です。

そのため、特に将来の広島を担う高校生、大学生、若手社会人を対象として、広島県知事との意見交換会を開催し、将来の広島の目指す姿などについて語り合います。この意見交換会を通じて参加者の理解を深めるとともに、皆様の声や想いを広くうかがい、共に広島の未来を考えてまいります。

なお、今回の「#ひろしま未来トーク」は、「ひろしまビジョン」改定後、県北部では初めての開催です。今後は県東部での開催も検討しており、今年度は今回を含めて計 3 回の開催を予定しています。若者と広島県知事の生の声や熱い想いを是非ご取材ください。

➤ 取材のポイント

1 広島の未来を共に考える

今年 6 月に改定された「ひろしまビジョン」をベースに、参加者全員で現状や将来について学びながら、広島の未来をどう描くかを共に考えます。【ビジョン改定後、県北部初の直接対話】

2 若者のリアルな声を知事に直接伝え意見交換する

広島県内に居住または通勤通学する高校生や、県内外にお住まいの広島県出身の 30 歳未満の若者が、自身の描く広島の未来や熱い想いをプレゼンテーションし、知事と直接意見交換を行います。【フリーディスカッションも実施】

3 意見交換後には、参加者や知事への囲み取材が可能です。【要事前申込】



➤ 開催概要

日 時	令和8年10月3日（土）13時15分から15時45分
会 場	三次もののけミュージアム（広島県三次市三次町1691番地4）
参加者	・ 高校生、大学生、社会人を含む9名程度 ・ 広島県知事
内 容	広島県知事による『「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」改定版』のご案内 及び 参加者によるプレゼンテーションと全体でのフリーディスカッション

➤ プログラム

12:45～13:15	受付
13:15～13:25	知事挨拶／『「ひろしまビジョン」改定版』のご案内／参加者自己紹介 ■ポイント1：「ビジョン」改定後、県北部初の意見交換会スタート！
13:25～14:55	プレゼンテーション・質疑応答 ・メインテーマ：人口減少社会の中で、どのように広島県を元気にしていくか ■ポイント2：参加者同士の意見交換も！
14:55～15:05	休憩 ■ポイント3：参加者へ取材可能！
15:05～15:35	フリーディスカッション ・サブテーマ：高齢化・過疎化により、農業や伝統芸能の存続危機にどう対処するか？（サブテーマは開催地毎に変わります）
15:35～15:45	まとめ・写真撮影 ほか ■ポイント3：参加者や知事へ取材可能！

（参考）冒頭ロゴ「それ、広島で。」について

広島県では、「それ、広島で。」をキャッチコピーに掲げ、就職や転職、起業、U・Iターンなど、これからの働き方や暮らし方を考えるすべての人の挑戦を応援しています。

このキャッチコピーには、東京でしかやりたい仕事はできないと思っている人、就職は何となく大都市を希望している人、広島にいつかは戻りたいと思っている人、広島での挑戦に悩んでいる人、さまざまな人に、「それ、広島で実現可能」というメッセージを込めています。

県ホームページでは、広島を舞台に今を生きる方々の等身大のエピソードを公開しています。



(お願い)

県政記者クラブ会員社及び県内各種メディアの皆様へ

【意見交換会の取材について】

- ※ イベント終了後等に、参加者及び知事への囲み取材をお受けいたします。
 - ・ 別紙の取材申込書又はメール本文に連絡事項を記載の上、期限までにご連絡ください。
 - ・ 連絡事項：貴社名、当日の来訪人数、使用機材の台数（スチールカメラ、テレビカメラ）、取材内容（参加者インタビュー・知事囲み取材）、本件に関するご連絡先（ご担当者名、連絡先 メールアドレス、緊急連絡先電話番号）
- ※ 取材に当たっては、自社腕章を着用し、会場で受付をお願いします。
開催日当日の受付時間：12時45分から13時15分まで
- ※ 撮影可能エリアについては、現地県職員にご確認ください。
- ※ 円滑な進行へのご協力と、参加者を含む周囲の関係者へご配慮ください。
- ※ 会場内では取材（観覧）席を設け、資料がある場合は別途配付します。

皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

【ご参考】

なお、令和８年度第３回は、以下の通り開催予定です。

回 次	第 3 回
日 時	令和 9 年 1 月 16 日（土）14時から16時30分（時間帯は予定）
会 場	県東部
参加者	・ 高校生、大学生、社会人を含む 9 名程度 ・ 広島県知事
内 容	広島県知事による『「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」改定版』のご案内 及び 参加者によるプレゼンテーションと全体でのフリーディスカッション

取材申込書

取材対象		令和８年度『安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン』改定版』にかかる県民との意見交換会 第２回「＃ひろしま未来トーク」
期限		令和８年10月１日（木）１７時
方法	FAX	050-3156-3479
	電子メール	soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp
宛先		広島県 総務局 経営企画チーム 三上・浜崎
日時		令和８年10月３日（土）１３時１５分から１５時４５分 （受付時間１２時４５分から１３時１５分まで）
会場		三次もののけミュージアム （所在地：広島県三次市三次町1691番地４） ※ 直接ご来場ください。

申込内容

1	貴社名			
2	当日の来訪人数（人）			
3	使用機材	スチールカメラ（台）		
		テレビカメラ（台）		
4	取材内容 ※いずれかを選択ください	参加者インタビュー有無	有	無
		知事囲み取材有無	有	無
5	本件に関するご連絡先	ご担当者名		
		連絡先（電子メール）		
		緊急連絡先（電話番号）		

(参考)



広島が抱える課題に、若者から具体的な提案をいただきました！ 第1回「#ひろしま未来トーク」開催レポート

2026年8月25日（火）、エディオンピースウイング広島（広島市中区）において、県内外の高校生・大学生・社会人の計10人と広島県知事の意見交換会「#ひろしま未来トーク」を開催しました。

参加者はUIターン促進、公共交通、福祉人材確保、観光振興など、広島が抱える課題に対し、当事者として現状を捉え、具体策や戦略的な提案をしてくださいました。

（「交通事業者の横断的連携による移動の自由度向上」「介護職を“稼げる職”へ転換する施策」「観光を日帰りから“1泊化”へ導く仕掛け」など、実装を見据えたアイデアが多数示されました。）

知事は「大きな刺激と素晴らしい気づきを得られた時間となった」と総括しました。

2 主な意見交換内容

（1）交通：「交通事業者の連携」で“移動の自由”を

公共交通の利用者減少が進む中、利用者目線で「使いたくなる」仕組みをどのように作っていくかについて意見が交わされました。

【社会人・Eさんの提案】

「交通事業者同士がプラットフォームで連携し、雨天時のリアルタイム状況共有や災害時の代替ルート確保を実現すべき」



(2) 福祉：「介護職の処遇改善」「稼げる職」へ



福祉人材の確保をめぐるのは、介護職の人手不足の背景としてマイナスイメージが職業選択に影響している点を共有されました。

【大学生・Hさんの提案】

「介護職の人手不足は『高齢者特有の障がいへの対応』と『給与が低そう』というイメージが主因。AIでは代替できない人間の尊厳を支える仕事として、『稼げる職』へ転換して、地域全体で高齢者を支える循環システムを作るべき」

(3) 観光振興：日帰りから「1泊化」へ 若者発“10の提案”

観光分野では、広島は主要観光地がコンパクトにまとまっていることで、日帰りの観光客が多く、宿泊客が他都市へ流出している実態について議論されました。

その中で、消費額や地域への波及効果を高めるためには、滞在時間を延ばし「宿泊する理由」を作る仕掛けが必要だとの問題提起がなされ、観光の“1泊化”に向けたアイデアが多数提案されました。



【若者からの提案例】

- ・瀬戸内フェリー巡り（フェリーを観光コンテンツ化）
- ・推し活ツアー（カープやサンフレッチェなどの試合後の選手ゆかりのスポット巡り）
- ・絶景スタンプラリー（「県内自然」×「グルメ」の連携）
- ・復興スピリットツアー（平和学習を「再生の歴史」に昇華）

3 総括：知事メッセージ



本日は若い皆さんの素晴らしいアイデアと、非常に鋭い着眼点に直に触れることができ、私自身にとっても大きな刺激と素晴らしい気づきをいただく時間となりました。

このように、県政を、もっともっと皆さんの身近なものとして感じていただきたいと思います。真剣な提案や、ちょっとした思いつき、それら全てが地域や社会、そして新しい広島を創る大きなエネルギーになります。

皆さんとのディスカッションを通じて、皆さんが社会にどう貢献しようとしているかを肌で感じ、広島の未来は本当に明るいと確信しました。それぞれの人生で様々なチャレンジを経験しながら、ありがたい姿に向かって羽ばたいてほしいと思います。